

世帯消費動向指数及び総消費動向指数の基準改定について

世帯消費動向指数（CTIミクロ）及び総消費動向指数（CTIマクロ）は、2021年7月分より、基準年次を2020年とする2020年基準改定を行います。

2020年基準改定では、世帯消費動向指数（CTIミクロ）において、財・サービス区分別結果の公表を開始するほか、精度向上を図り、家計調査、家計消費単身モニター調査及び家計消費状況調査結果の合成方法等の見直しを行います。概要は下記のとおりです。

記

1. 改定・変更する系列

<< 世帯消費動向指数（CTIミクロ）>>

	項目	改定・変更内容	該当期間
1	指数 原数値 (対前年増減率)	・基準年変更(2015年 2020年) ・財・サービス区分の作成開始 ^{注1} ・合成方法の見直し ^{注2} ・接続指数 ^{注3} の作成 ・CPI改定に伴う実質値の改定 ・対前年増減率作成系列の拡充 ^{注4}	全期間(2019年以前は、接続指数) (二人以上の世帯:2002年1月～) (総世帯・単身世帯:2017年1月～,2002年1-3 月期～,2002年～)
2	指数 季節調整値 (対前月(期)増減率)	・原数値の改定・変更に伴う改定 ^{注5} ・対前月(期)増減率の作成開始 ^{注6}	全期間 (二人以上の世帯:2002年1月～) (総世帯・単身世帯:2017年1月～,2002年1-3 月期～)
3	参考詳細表	・合成金額作成方法の見直し ^{注2}	2020年1月～

注1:作成期間は2020年1月分以降とする。これに伴い分類を一部見直したため、10大費目のうち「教育」及び「その他の消費支出」について接続指数は作成しない。

注2:詳細については、「世帯消費動向指数(CTIミクロ)の推定方法(2020年基準)」に掲載する予定

注3:2015年基準の指数を、新旧基準の基準年金額の比を用いて換算したもの

注4:全ての系列について、指数値に対応する対前年増減率を作成する。

注5:「教育」、「その他の消費支出」及び財・サービス区分別結果の季節調整値は、当面作成しない。

注6:財・サービス区分別結果を除く全ての系列について、指数値に対応する対前月(期)増減率を作成する。

<< 総消費動向指数（CTIマクロ）>>

	項目	改定・変更内容	該当期間
1	指数値	・基準年変更(2015年 2020年)	全期間(2002年1月～)

2. 公表スケジュール

公表内容	公表日時
・世帯消費動向指数（CTIミクロ）の推定方法（2020年基準） ・総消費動向指数（CTIマクロ）の推定方法（2020年基準）	2021年8月6日（金） 8:30
【2020年基準による指数】 ・2021年（令和3年）7月分（遡及結果及び接続指数を含む。）	2021年9月7日（火） 8:30